

第3学年 年間指導計画(国語科 全210時間)

学習の目標

○相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや、話の中心に気をつけて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。
 ○相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができる態度を育てる。
 ○目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段階相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

学習の方法

○身近な話題についてスピーチする。
 ○要点などをメモにとりながら聞く習慣をつける。
 ○身近な出来事や調べた事柄について、説明したり報告したりする。
 ○自分が疑問に思ったことなどについて調べてまとめる。
 ○経験したことを記録文や新聞などに表す。
 ○読んだ内容に関連した他の文章を読み、疑問について関係のある図書資料を探して読む。

学習の評価

次の5つの観点にそって、どれだけ達成できたかによって評価する。

1. 国語への関心・意欲・態度
2. 話す・聞く能力
3. 書く能力
4. 読む能力
5. 言語に関する知識・理解・技能

「よいこのあゆみ」では、それぞれについての総合的な結果を知らせる。評価の方法は、ペーパーテストのほか、プリント、ノート、発表などである。

単元名	主な学習内容
1 様子や気持ちが伝わるように音読しよう	場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、音読する。
・すいせんのラッパ	物語を読んで、学習のねらいを確かめる。
・本にしたしもう	読んだ本の情報を記録したり、感想を書いたりする。
・自分をしょうかいしよう	いくつかの観点から、書くための材料を探す。
・国語じてんの使い方を知ろう	国語辞典の仕組みや使い方を理解する。
2 だん落に気をつけて読もう	段落ごとに内容をとらえながら読み取る。
・えらんだ理由を話そう	考えと理由を明確にして、整理して話す。
・かんさつしたことを書こう	観察して気づいたことを、事柄ごとに整理して書く。
・形のかわる言葉に気をつけよう	言葉の類別について知り、動詞や形容詞、形容動詞の活用について理解する。
3 物語のあらすじをとらえよう	場面の移り変わりに気をつけて読み、あらすじをまとめる。
・ゆうすげ村の小さな旅館	
・話を聞いてメモをとろう	話の大事なことを聞き取って、メモに取る。
・漢字の組み立てと意味を考えよう	共通する部分を持つ漢字があり、それらが意味の上でも共通性を持つことを理解する。
4 書く人のくふうを考えよう	事柄の取りあげ方や、説明の仕方を読み取る。
・「ほけんだより」を読みくらべよう	
・心にのこったことを書こう	伝えたいことの内容を考え、書く材料を選んで書く。
・慣用句を使ってみよう	慣用句について知り、慣用句を使った短文を書く。
・本は友だち	読書への関心を高め、多様な本を読む。

5 詩を読もう	場面の様子や人物の気持ちを思い浮かべながら、詩を声に出して読む。
・紙ひこうき	
・夕日がせなかをおしてくる	
・話したいな、夏休みの出来事	順序よく筋道を立てて話す。自分と比べながら聞く。
・案内の手紙を書こう	案内するときに大事なことを落とさないように書く。
・ローマ字	ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書く。
6 人物の気持ちを考えながら読もう	物語の中心となる人物の気持ちの変化を考えながら読む。
・サーカスのライオン	1 学習のねらいを確かめ、物語を読んで感想を発表する。(1)
・お話を作ろう	地図を手がかりに想像を広げ、場面を整理してお話を書く。
・「こそあど言葉」を使い分けよう	指示語の働きや種類について理解する。
7 はたらく犬について調べよう	大事な言葉や文を見つけ、書かれている内容を短くまとめながら読み取る。
・もうどう犬の訓練	
・こちら、「子ども相談室」	自分の考えと理由を分かりやすく話し、相手の伝えたいことを考えながら話し合う。
8 調べたことを整理して書こう	知りたいことについて調べ、調べたことを整理して文章に書く。
・様子をくわしく表そう	修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をする。
9 世界の民話を読もう	世界の民話を読んで、民話のおもしろさを味わう。
・木かげにごろり	
・俳句に親しもう	俳句を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。
・くらべて分かったことを書こう	同じところと違うところを整理して文章を書く。
10 調べたことを整理して発表しよう	調べたことを整理して、分かりやすく説明する。
・わたしたちの町の行事をしょうかいしよう	
・漢字の表す意味を考えよう	漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて整理する。
11 世界の家のつくりについて考えよう	文章や絵から読み取ったことをもとに考える。
・人をつつむ形—世界の家めぐり	
・「わたしの作品集」を作ろう	これまでに書いた文章を読み合い、1年間を振り返る。
12 場面の様子を思いうかべながら声に出して読もう	読み取ったことをもとに音読発表をする。
・手ぶくろを買いに	